

中高一貫教育だより

軽米地域中高一貫教育協議会～軽米中学校より～

「中高6年間の系統的・継続的指導を行う中で、地域との連携を深めながら、郷土理解を進め、地域の発展に貢献する能力を育む」ことで生徒の個性の伸長、学力向上を図っていこうというねがいのもと、平成13年度から地域連携型の中高一貫教育が始まり、今年で17年目を迎えました。

軽米地域中高一貫教育協議会では今年度、①「数学」「英語」における授業交流 ②部活動・特別活動における交流 ③郷土学習「軽米学」の推進を主な重点として行っています。

これらの活動を展開する中で、授業等の交流場面では、熱心に指導してくださっている高等学校の先生方への信頼感が増し、より良い関係が築かれていること、部活動や行事等の交流場面では、高校生がリーダーシップを発揮する姿にあこがれや頼もしさを感じるなど、中学生個々への大きな刺激となっています。また、高校側に生徒個々の人間関係等を理解していただき、軽米高校入学者への学習指導や将来を見据えた進路指導等に効果的に生かしていただける点など、系統的・継続的という点に成果が感じられるようになってきました。

今年度の取り組みはまだ途中ですが、様々な場面で成果が確認され、今後の中高一貫教育が益々活発に行われていくことを期待します。今回は、授業交流の様子や部活動への支援、交流行事の様子を紹介します。

☆授業交流の様子☆

富樫奈津子先生：3年英語

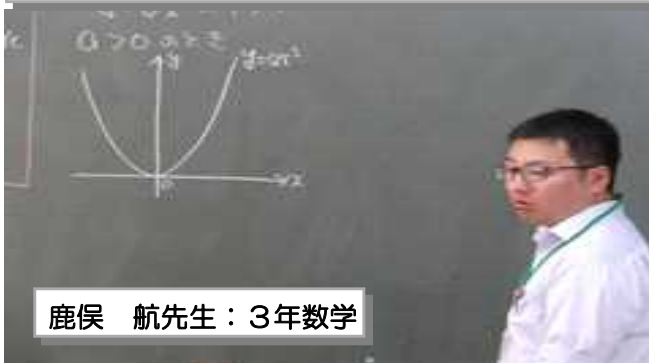


鎌田忠佳先生：3年数学



丁寧かつ熱心に高等学校の先生方に教えていただき、中学生は日々、大きく成長しています。

石村隆彦先生：3年英語



鹿俣 航先生：3年数学



いろいろな交流活動が活発に行われています

吹奏楽部合同練習の様子



中高一貫クリーン作戦の様子



陸上合同練習の様子



高校説明会で中学生に
熱いメッセージを伝える
軽米高校 泉 悟 校長先生



軽米高校との部活動交流が行われています。熱心な高校生の指導を受け、少しでも多くの事を吸収しようと中学生は真剣に臨んでいます。また、高校の先生方からの専門的な技術指導も中学生にとっては大きな魅力となっています。交流活動を通して、一つ上のレベルに中学生は成長しています。



軽米の子供たちをはぐくむ「軽米学」とは？

全体テーマ

ふるさと「軽米」

ねらい：ふるさとを愛し、誇りに思い、将来、自信を持って軽米を語る生徒の育成

小学校における基礎学習（自然・歴史・文化・産業）

- 中学校1年生・・・「ふるさとを知る」
軽米の歴史、文化、自然、風土を改めて学び、郷土の特徴や良さを考える。
- 中学校2年生・・・「ふるさとに学ぶ」
地域の方々とのふれあいを通して、勤労の意義や喜びを学び、社会人として必要な力や生き方を探る。
- 中学校3年生・・・「ふるさとに活かす」
進路や社会への貢献の仕方を考える中で、将来の生き方を探る。

中学校3年間の学習をファイリング

活かす

- 高校1年生・・・「ふるさとを振り返る」
ふるさと軽米を多面的に振り返り、リフレーミングすることで現状の課題や問題点を把握する。
(町長講話、地区長へのインタビュー、テーマ設定、文化祭での展示発表、次年度への課題の明確化)
- 高校2年生・・・「ふるさとを探る」
研究テーマに従い、他地域（同じような状況の町村）との比較をしながら、調査・研究をすすめる。
(中間発表会の企画)
- 高校3年生・・・「ふるさとを語る」
自分たちの育ってきたこの町の課題に対して、これからどのように解決・改善していきたいか、待ちの将来像を具体化し、町へ提言する。
(町長へのビデオ発表、町長・議員への提言、子ども議会での発表、文化祭での公開討論会の実施＝プレゼン、冊子づくり)

* 平成29年度入学生より年次進行していく。